



TITLE:

# 阪神大震災への京都大学附属図書館の対応

AUTHOR(S):

---

CITATION:

阪神大震災への京都大学附属図書館の対応. 静脩 1995, 31(4): 6-6

ISSUE DATE:

1995-03

URL:

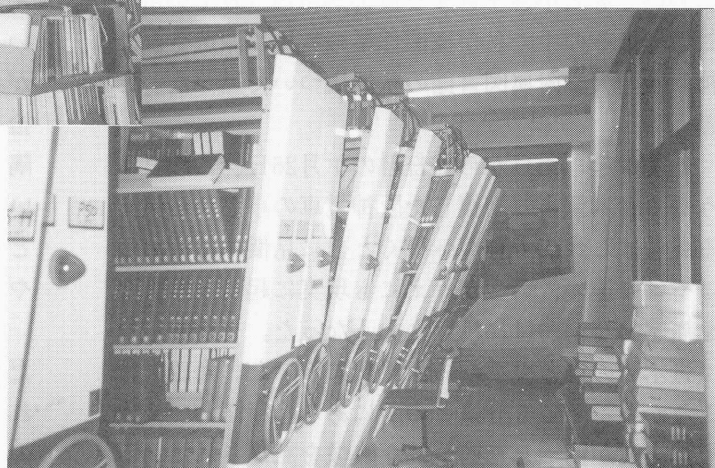
<http://hdl.handle.net/2433/37303>

RIGHT:

## 神戸商船大学附属図書館の被害状況



一般書架



集密書架

### 阪神大震災への京都大学附属図書館の対応

(1) 今回の阪神大震災で被害を被った、神戸商船大学と神戸大学の図書館復旧作業支援のために、1月26日から30日、2月13日から24日まで、京都大学附属図書館及び部局図書室から、延べ約40名が参加しました。

(2) 京都大学附属図書館では、今回の阪神大震災で被害を被った地域の学生や研究者の方々に、以下のように図書館を開放しています。

入館については、神戸大学・神戸商船大学の二つの国立大学の学生については、今年度中は、学生証のある・なしにかかわらず、閲覧願に記入した上で入館していただいています。閲覧願も通常より、幾分簡素化し、住所・氏名・大学名・「阪神大震災のため」と記入してもらうだけにしています。院生・教職員の方には共通閲覧証がなくても、署名だけで入館していただけるようにしています。

また、上記2大学以外でも神戸商科大・神戸市立外大・兵庫医大・武庫川女子大・甲南大・神戸薬大・神戸女学院などの大学の方、あるいは、大学受験を控えた高校生の方などが利用をしたいとのことで

当館を訪れられたので、同様の閲覧願いを記入してもらって入館していただきました。

図書の貸出については、神戸大学よりの依頼文書を受け、被災地域の神戸大学・神戸商船大学の二つの国立大学の学生に貸し出しています。京都大学の学部生なみに、開架図書・書庫内図書共2週間の期限で5冊まで借りられるようになっています。

この結果、2月末の時点で被災関係者は、204名の方が入館され、202冊の図書が貸し出されました。

なお、いくつかの部局図書室等においても、被災地域の方に対する便宜を図っています。

(3) 附属図書館一階のカウンター前に阪神大震災の被災者に対する義援金の募金箱を1月23日に設置し、2月10日までの間、協力をお願いいたしましたところ、180,345円集まりましたので、日本赤十字社に寄託しました。御協力ありがとうございました。

なお、京都大学学生部からの呼びかけで、京都大学の学生の中から被災された方へ、援助のための文房具・参考書・問題集などが、たくさん集まりました。この一部を附属図書館にも置き、来館された被災学生の方々に自由に使っていただいています。